

大会長挨拶



第二回 プロフェッショナル・リハビリテーション学会学術集会

大会長 石川 裕治

高知リハビリテーション専門職大学 言語聴覚学専攻 教授

このたび、第二回プロフェッショナル・リハビリテーション学会学術集会を令和9年1月30日(土曜日)に、高知市のオーテピアで開催させていただくことになりました。

本学会は、保健・医療、リハビリテーションに関わる科学の進歩によって人々の健康維持・増進に貢献するため、① 研究成果を発表する場を設けること、② 研究者の交流の場を設けること、③ 卒前・後教育の場を設けることなどを支援する目的で設立し、昨年、第一回大会を開催したばかりの生まれたての会です。

第二回はリハビリテーションにおける多職種連携や協働のあり方を見直すことを目的として、大会テーマを「連携・協働の再起動」としました。今大会の新たな取り組みとして症例検討のセッションを企画しています。上手くない症例や失敗した症例、臨床経験が浅く、まだまとめ切れていない症例など、他の学会では発表しにくい症例でも受けつけます。一般演題と比べて発表時間だけでなく、質疑応答の時間を十分に設ける予定です。質疑応答を活発に行い、多くのアドバイスをもらって次に生かす場になれば幸いです。

症例検討を含めた各催しにおいて充実した議論を重ねるために、リハビリテーションに携わる多職種の方々、また、新人から経験豊富な臨床家まで、より多くの方々に参加していただく必要があります。

つきましては、「高知で、“プロフェッショナル・リハビリテーション学会”が開催されるよ」と声を掛け合っていただき、より多くの方々にご参加いただけることを学術集会準備委員一同、心待ちにしております。

どうぞ、よろしくお願いいたします。